

器販増材平電念門ほ

# 「みんなで汗して」

## 木村東京農大教授 地域づくりの方策指南

北上・更木

北上市の更木町振興協議会(小原孝也会長)が主催する木村俊昭氏講演会は24日、同市更木町の更木地区交流センターで

開かれた。参加者約120人は、地域おこしなどで知られる東京農業大学教授の木村氏が紹介する実例等を通して、成功する

地域づくりの取り組みについて学びを深めた。北海道出身の木村氏は、小樽市入庁後、産業振興課長、企画政策室主

幹、産業港湾部副参事(次長職)等を歴任。2006年から内閣官房・内閣府企画官(地域活性化担当)、09年からは農林水産省大臣官房企画官。現在は公益社団法人日本青年会議所アドバイザー兼地域プロデューサー育成塾長などとして全国で

講演・現地視察を行う。テレビ番組にも出演しているほか、著書多数。木村氏は「みんなで楽しく汗して自分たちのまちを豊かにしましょー!」と題して講演。北

海道や鹿児島県の自治体で取り組む地域づくりの実例を紹介し、「地域の人がどんなことができるか、どのようなノウハウを持っているか知っておき、情報を共有すること

が重要」とし、それを基に役割分担し、構想を練って収益方法について説明。桑茶などで地域に

発が可能になった」との声があり、物流拠点間を結ぶ安定したルートとして地域産業を支援している。

また、遠野消防署からは「心電図の誤差が少なくなり、適切な処理が行えるようになった」、遠野市内の助産院からは

「盛岡市や花巻市、北上市の病院に通う妊婦の通院が楽になった」との声も寄せられている。

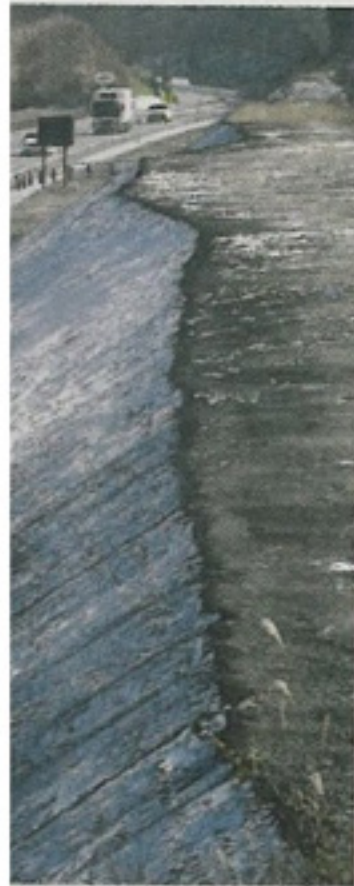
同事務所では「利用が広がっており、前倒しして供用を開始した意味があった。地域に貢献でき、大変うれしい」と話している。開通1年後の利用状況についてもまとめる計画。



地域づくり成功へのヒントをアドバイスする木村氏

したという木村氏は、いしかつたが、これをどんどんPRするストーリーをつくり、値を自分たちでつけて文字や言葉でブランド化すること」とアドバイス。木村氏は、講演後、木地域内で更木ふる興社や更木結っこなどを視察した。

日流



IC—東和IC間の江刺田瀬ICとの区間の1日の交通量は、開通直後(11月28日)が6000

掲載記事と写真を額装でお分けします ●A4判/2800円

お問い合わせ・お申し込み(北上支社) 0197(65)344